

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		総務管理						整理番号	687	枝番号		
担当部課名		環境清掃部清掃管理課		コード	230205	連絡先電話番号	3728	昨年度整理番号	706	昨年度枝番号		
係名		管理係		上位施策名				No				
予算事業名		リサイクル・清掃管理		コード	67500	ごみ排出の適正化及び収集サービスの向上				20		
事務事業の概要	事業開始年度		○昭和 ●平成		12年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 行革計画事業					
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 政策番号 <input type="checkbox"/> 施策番号 <input type="checkbox"/> 事業コード					
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他				根拠法令等 (1) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (2) 杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する条例 (3) 杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する規則					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		清掃事業担当各課との連絡調整事務。・清掃関係情報の収集、提供事務。・ごみの搬入、搬出に関するデータ集積及び、出先事業所と本庁におけるごみ量把握。・清掃車運転手休憩室の維持管理。・粗大ごみ受付センター運営委託事務(18年10月から杉並区コールセンター)。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 廃棄物情報管理システムの運用により正確なデータを共有し、事務処理の効率化を実現させる。清掃に関する情報が各課に提供されることにより、業務が円滑に行われる。他自治体や他機関との情報交換を行うことにより新しい施策の構築や計画策定に役立たせる。					
	活動指標名(式)		(1) 清掃事業従事職員数				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1)					
		(2)				(2)						
区分		単位	16年度実績		17年度		18年度		19年度計画	目標値22年度	目標値に対する18年度の達成率%	
				計画	実績	計画	実績					
指標	活動指標(1)		人	337	332	331	323	321	313			
	活動指標(2)											
	成果指標(1)											
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	44,478	43,610	44,672	68,756	74,355	15,901	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等		千円									
	(内) 委託費		千円	34,851	35,630	36,291	59,181	64,697	3,572			
	職員数(常勤 非常勤)		人	3.14 0.00	3.14 0.00	4.60 0.00	3.85 0.00	4.70 0.00	4.70 0.00			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	28,574	28,448	41,676	34,881	42,582	42,582		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0	0		
	総事業費 ++		千円	73,052	72,058	86,348	103,637	116,937	58,483			
	単位あたりコスト(-)÷		円	216,772	217,042	260,870	320,858	364,290	186,847			
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0				
差引: 一般財源 -		千円	73,052	72,058	86,348	103,637	116,937	58,483				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
18年度の主な取組み		内 容						規模	単位	事業費(千円)		
		粗大ごみ受付センター運営(委託等)								68,954		
		廃棄物情報管理システム維持管理								3,257		
		運転手休憩室賃借料								1,329		
		その他 (事務用品購入等)								815		

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 687 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	99.4	活動指標(2)の 18年度達成率%		18年度予算 執行率%	108.1
		例年通り、事務用品棚の定期的な整理・点検による在庫確認で、消耗品購入費の節減に努めた。					
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		平成18年10月から粗大ごみ受付業務を「杉並区コールセンター」に統合した。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	平成12年度から清掃事業が区に移管されたことに伴い事業開始。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	なし					
	今後の予測	平成24年度から杉並清掃工場のプラント更新が予定されているため、清掃工場内の運転手休憩室について、改修期間は利用しない状況となる。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: 廃棄物情報管理システムによりごみ量や車両稼働状況を把握し、計画的な業務執行とデータ把握に効果を上げている。清掃工場敷地内に運転手休憩室の維持管理は、運転手の健康を確保し安全運転を行うために必要である。清掃事業を遂行する上で必要な情報提供事務を行うための電子複写機の契約や物品購入などを行っており、清掃事業にとって不可欠な事務である。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 廃棄物情報管理システムを利用した各種データ把握により、より様々な事業の計画策定等に役立てていく。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 個人・団体に対するサービスではないため(粗大ごみ処理については、廃棄物処理手数料を徴収している)。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [手段・方法の変更] (具体的内容)	理由または具体的内容: 粗大ごみ受付業務について、「杉並区コールセンター」への統合後、システム運営委託内容の改善を図っていくとともに委託経費の削減について考えていく。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している(^)	協働等の今後のあり方:	<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄				
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題 粗大ごみ受付業務について、粗大ごみ受付センターを運営し業務委託しているとともに受付システムそのものの運営も委託している。粗大ごみ受付センターについては18年10月「杉並区コールセンター」に統合。					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするかたち) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 廃棄物情報管理システムをさらに有効利用し、各種データの把握により計画的な事業運営等、収集サービスの向上を図っていく。	
20年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 現在、廃棄物情報管理システムは限られた職員のみ利用しているが、なるべく多くの職員が利用できるようシステムの操作講習等によりシステム利用可能な職員を増やしていく必要がある。	
	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
(2) 理由 19年度予算は、粗大ごみ受付業務を18年10月から「杉並区コールセンター」に統合したことにより大幅な減となったが、20年度についてもそのままの経費で、事業運営していく予定である。		

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		交通安全対策・安全管理						整理番号	689	枝番号	
担当部課名		杉並清掃事務所・方南支所		コード	230501	連絡先 電話番号	3392-7281	昨年度 整理番号	708	昨年度 枝番号	
係名		管理係		上位施策名						No	
予算事業名		杉並清掃事務所維持管理		コード	69100	ごみ排出の適正化及び収集サービスの向上				20	
事務事業の概要	事業開始年度		○ 昭和 ● 平成		12 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	施策番号	事業コード
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業				
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 清掃事務所、清掃事業所の職員、正副安全運転管理者、衛生管理者				根拠法令等				
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		清掃職員を対象に交通安全講習会（春・秋）を開催する。正副安全運転管理者対象の講習会に参加する。自動車運転職員対象の運転技術研修に参加する。安全作業に関する職場内研修の充実 部及び所の安全衛生委員会の定期的開催。安全パトロールの実施。保護員の支給及び適正な着用の指導。				(1) 労働安全衛生法 (2) 杉並区安全衛生委員会設置規定 (3) 安全作業手順				
	活動指標名(式)		(1) 交通安全講習会受講者及び自動車運転職員研修受講者数 (2) 安全衛生委員会開催回数				事業の目標（対象をどのような状態にしたいのか） 自動車運転職員の運転技術向上と安全運転意識を高め、交通事故件数を減少させる。安全な作業環境を構築し、公務災害の発生を防止する。				
		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標				(1) 交通事故等発生件数 (2) 公務災害発生件数					
区分		単位	16年度 実績	17年度		18年度		19年度 計画	目標値 22年度	目標値に対する18年度の 達成率%	
指標	活動指標(1)		人	407	447	258	478	389	460	88.4	
	活動指標(2)		回	19	21	21	18	17	18	94.4	
	成果指標(1)		件	16	0	7	0	13	0	0	
	成果指標(2)		件	22	0	19	0	18	0	0	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	12,559	16,359	10,449	17,090	9,677	17,373	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)	
	(内) 投資的経費等		千円	0	0	0	0	0	0		
	(内) 委託費		千円	74	7	11	221	10	225		
	職員数(常勤 非常勤)		人	1.40 0.00	1.40 0.00	1.40 0.00	1.40 0.00	1.40 0.00	1.40 0.00		
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	12,740	12,684	12,684	12,684	12,684	12,684	
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0	0	
	総事業費 + +		千円	25,299	29,043	23,133	29,774	22,361	30,057		
	単位あたりコスト(-)÷		円	62,160	64,973	89,663	62,289	57,483	65,341		
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0	0	0	
		国・都等からの支出金		千円	0	0	0	0	0	0	
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0			
差引: 一般財源 -		千円	25,299	29,043	23,133	29,774	22,361	30,057			
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
18年度の主な取組み		内 容		規模	単位	事業費(千円)					
		保護具及び医薬品等の購入				4,586					
		被服洗濯代等		20,229	着	2,643					
		産業医謝礼金等				1,588					
		その他 ()				860					

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 689 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	81.4	活動指標(2)の 18年度達成率%	94.4	18年度予算 執行率%	56.6
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		安全で快適に作業を行うため、引き続き、作業に最適な保護具や作業服等の導入していく。また、体験型安全運転研修会に職員を派遣し、安全運転の徹底を図っていく。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	清掃事業は、平成12年度に東京都から区に移管された時点で405名いた清掃職員(自動車運転手及び囁託員含む)が、平成19年度には311名となり、ごみの減量、事業の効率化、委託化は着実に進んでいる。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	運転マナーに対する苦情が寄せられている一方で、迅速な対応へのお礼の声も寄せられている。					
	今後の予測	交通事故や作業上の事故を防止し、清掃事業を計画的に進めるため、引き続き交通安全対策の充実・安全管理の徹底を図っていく。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由)	理由: 常に、安全の意識を維持するように、交通安全講習会や安全衛生委員会を開催している。また、自動車運転者を対象に危険な状況を想定した研修会等に参加させ、運転技術の向上や交通事故の減少に取り組んでいる。こうした取り組みが、けがの予防や事故の防止に役立ち、収集計画の確実な履行につながり、区民サービスの向上に寄与している。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる()	理由または具体的内容:					
	成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 安全対策や交通安全に対する職員の意識を向上させることで、経費を抑えながら効果を上げることが可能である。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容)	理由または具体的内容: 交通安全対策や安全管理は、職務遂行上欠かせない事項であり、区の責務である。このため、受益者負担に適さない。					
(4) コストを下げる余地はあるか ある[その他](具体的内容)	理由または具体的内容: 講習会等の参加費用は、実施機関が金額を決めており、費用のコストダウンは困難であるが、安全管理を徹底することで、事故発生に伴う諸費用の支出を削減することができる。						
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題 保護具・被服の購入や安全教育は雇用者の責任として区が行っている。一方、産業医の派遣や被服の洗濯はすでに委託している。					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%未満に相当](具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 安全で円滑な清掃作業を実現するため、「加害交通事故ゼロ」を目標に掲げ、部の重要課題として取り組む。保護具の完全着装により作業事故ゼロを目指すとともに、より安全で快適な作業着や保護具の採用や安全作業手順の見直しを行い、安全な作業環境を構築していく。	
20年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 ローテーション現場であることから、一度の講習会や研修等に全員を参加させることが難しい。全員が参加できる計画を立て、全職員の受講を目指す。また、毎日のミーティングの中で安全作業。手順の徹底について確認を行っていく。	
	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
(2) 理由 引き続き安全管理を徹底させ、事故ゼロを目指す。		

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		ごみの収集運搬						整理番号	693	枝番号				
担当部課名		環境清掃部清掃管理課		コード	23028	連絡先 電話番号	3725	昨年度 整理番号	712	昨年度 枝番号				
係名		清掃計画係		上位施策名						No				
予算事業名		ごみ収集管理		コード	68100	ごみ排出の適正化及び収集サービスの向上				20				
事務事業の概要	事業開始年度		○昭和 ●平成		12年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	(3)	施策番号		事業コード	
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				<input checked="" type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業							
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 区内一般家庭及び事業者(排出日量50kg未満)				根拠法令等		(1) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (2) 杉並区廃棄物処理及び再利用に関する条例 (3) 杉並区廃棄物処理及び再利用に関する規則					
	活動内容(事務事業の内容、やり方、手順)		区民等から分別し排出された可燃ごみ、不燃ごみ及び粗大ごみを集積所から収集し、中間処理施設又は車両中継施設に搬入する。粗大ごみは日曜収集及び中継所への区民持込制度を平行実施する。また、カラス等によるごみの散乱を防止するための方策を講じ、集積所の衛生状態やまちの美観を保持する。				事業の目標(対象をどのような状態にしたいのか)		集積所等に分別・排出されたごみを、適正かつ効率的に収集・運搬するとともに、区民がより利用しやすいよう収集サービスを向上する。 また、分別の徹底を働きかけ、カラス等による集積所の被害を防止するため、区民が取り組みやすく、より低コストで効率的な方策を探し集積所の衛生状態やまちの美観を保持する。					
	活動指標名(式)		(1) ごみ量(可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみ) (2) 作業日数				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標		(1) ごみ量削減率(対前年度比) (2) 1作業日あたりの収集量					
区分		単位	16年度実績		17年度		18年度		19年度計画	目標値 22年度	目標値に対する18年度の達成率%			
指標	活動指標(1)		t	128,668	129,097	128,295	124,220	125,419	123,973	88,137	142.3			
	活動指標(2)		日	310	312	310	311	310	311	312	99.4			
	成果指標(1)		%	97	100	100	97	98	99	78	125.6			
	成果指標(2)		t	415.06	413.77	413.85	399.42	404.57	394.00	282.49	143.2			
総事業費・コスト把握	事業費		千円	1,014,553	1,060,073	1,009,226	936,623	870,136	989,683	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)				
	(内)投資的経費等		千円											
	(内)委託費		千円	104,855	101,809	87,188	63,197	45,898	115,216					
	職員数(常勤 非常勤)		人	187.66 7.00	180.83 12.00	180.82 12.00	184.83 22.00	184.89 22.00	177.83 19.00	活動指標(1)は、資源を除く区収集ごみ量。19年度計画及び22年度目標値には、20年度~22年度実施計画の改定に伴うごみ量推計値(再算定)を計上した。 活動指標(2)は、収集作業の年間日数。ただし、計画時点では年末年始期間等の収集日が未定なため、実績が変更となる場合がある。				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	1,707,706	1,638,320	1,638,229	1,674,560	1,675,103			1,611,140		
		非常勤職員分		千円	20,160	34,680	34,680	62,260	62,260			53,770		
	総事業費 + +		千円	2,742,419	2,733,073	2,682,135	2,673,443	2,607,499	2,654,593					
	単位あたりコスト(-)÷		円	21,314	21,171	20,906	21,522	20,790	21,413					
	財源	受益者負担分		千円	363,287	399,985	357,556	380,644	346,311			376,443		
		国・都等からの支出金		千円			5,954							
特定財源計 +		千円	363,287	399,985	363,510	380,644	346,311	376,443						
差引:一般財源 -		千円	2,379,132	2,333,088	2,318,625	2,292,799	2,261,188	2,278,150						
受益者負担比率 ÷		%	13.2	14.6	13.3	14.2	13.3	14.2						
18年度の主な取組み		内 容						規模	単位	事業費(千円)				
		ごみの収集運搬(可燃・不燃ごみ、粗大ごみ)(委託等)						310	日	833,134				
		可燃ごみ夜間収集モデル事業(委託等)						1	地区	17,374				
		折り畳み式ごみ収集ボックスの設置						278	台	7,129				
		カラス対策集積所ごみ集積所実態調査(委託等)						1	式	4,725				
		その他 (その他カラス対策等)								7,774				

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 693 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の 18年度達成率%	101.0	活動指標(2)の 18年度達成率%	99.7	18年度予算 執行率%	92.9
	主に、収集車両雇上経費及び収集作業臨時職員費の実績残による。					
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	18年度には、外部監査の報告を受けての検討結果が出たが、収集方法を改善し配車台数を削減する等、監査指摘事項のうち対応可能な事項から順次、着手している。19年度には、指摘事項である「ごみ収集事業民間委託検討会」の設置を予定している。 19年度予算は、廃プラスチックサーマルリサイクルの実施地区の拡大に伴う雇上車両が増加し、増となった。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	杉並中継所の不要化や最終処分場の延命のために、ごみの減量化が重要な課題となっている。また、収集運搬作業については、ごみ量に応じた人員機材の配置の見直しを行っているが、移管時の覚書等があるため、効率化の進展には時間を要する。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	集積所の管理に関する住民間のトラブルも多く、マナーの改善や戸別収集を望む声が多い。区民の生活様式や考え方が多様化、個別化し、各人の生活スタイルに合致した収集形態を求める傾向にある。				
	今後の予測	国の廃棄物の減量等に関する基本方針に、負担の公平性、ごみの排出抑制や再利用推進を進めるための家庭ごみ有料化の推進が述べられており、戸別収集、家庭ごみ有料化の導入について検討が必要である。また、20年度から廃プラスチックサーマルリサイクルが区内全域にて実施されるため、収集作業も大幅に見直す必要がある。				
事業のあり 方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由:ごみの収集運搬は、区民の日常生活に密着し、且つ、不可欠な事業である。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容 理由または具体的内容:収集作業は、ごみ量から効率性、安全性等を考慮し、毎年見直しを行っている。移管時の覚書等はあるが、ある程度の効率化は可能である。				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容)	理由または具体的内容:現在、粗大ごみ、事業系ごみ、臨時に多量に排出する場合等に限り、有料となっている。しかし、ごみの減量や分別の徹底の経済的誘導策として、国の基本方針に盛り込まれ、且つ多くの自治体で実施され、減量・分別の効果が得られている家庭ごみ有料化についての検討が必要である。				
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [民営化・外部委託化] (具体的内容)	理由または具体的内容:現在は、ごみ量に応じた作業計画を策定することにより、効率化を図っている。また、19年度ごみ収集事業民間委託検討会を設置する。				
協働等 点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している(^)	協働等の今後のあり方: <input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄				
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題 現在、ごみ収集車両(稼働車両)の約65.5%を民間業者から配車し、収集作業も一部を人材派遣等による作業員で行っている。				
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)	平成19年度にごみ収集事業民間委託検討会を設置し、さらなる委託等について検討する。				

今後の 事業の あり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするかたち) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 19年度にごみ収集事業民間委託検討委員会を設置し、集清掃事業のより効率的な運営について検討する。また、粗大ごみの日曜収集、区民持込制度等、今後も区民の視点に立ったサービスの拡充を図る。	
20年度 方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 作業計画の見直しにあたっては、収集サービスの低下を招かないようバランス良く効率化を図ることが課題である。また、プラスチック製容器包装の分別回収や廃プラスチックサーマルリサイクルの区全域での実施等、新たな経費増が見込まれる中で、事業をどのように運営していくかが課題となる。受益者負担として家庭ごみ有料化も方策として挙げられるが、事業の効率化、戸別収集の実施など収集サービスを向上しないと、区民の理解は得られない。また、今後の清掃事業のあり方(外部委託の拡大、民営化等)を検討するにあたり、事業移管時の諸規制及び収集職員の処遇等が大きな課題となる	
	(1) 20年度予算見積りの方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減な <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	(2) 理由 20年度から、プラスチック製容器包装の分別回収や廃プラスチックのサーマルリサイクルの区全域で実施することに伴い、作業計画が大幅に変更となり、収集運搬経費等の増が見込まれる。しかし、平成19年度に設置されるごみ収集事業民間委託検討会での方針等を含め、さらなる事業の効率化を図っていく。

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		一部事務組合等負担金						整理番号	694		枝番号						
担当部課名		環境清掃部清掃管理課		コード	230205		連絡先 電話番号	3728		昨年度 整理番号	713		昨年度 枝番号				
係名				管理係				上位施策名				No					
予算事業名				一部事務組合等負担金				コード				68900		ごみ排出の適正化及び収集サービスの向上		20	
事務事業の概要	事業開始年度			<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		12 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業		分野		政策番号		施策番号		事業コード	
	事業の種類			<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規		<input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		<input type="checkbox"/> 行革計画事業		<input type="checkbox"/> 協働計画事業							
	対象			<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		東京二十三区清掃一部事務組合 東京二十三区清掃協議会		根拠法令等									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)			ごみの中間処理などを23区で共同処理するほか、清掃車両雇上会社の配車調整などを行うための経費を各区が負担する。				(1) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (2) 東京二十三区清掃一部事務組合規約 (3) 東京二十三区清掃協議会規約									
	活動指標名(式)			(1) 4月1日現在人口(住民登録者数及び外国人登録人口) (2)				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 区が負担金を支出することにより、東京二十三区清掃一部事務組合が可燃、不燃、粗大ごみの中間処理及び尿の下水道投入について共同処理を行う。また、東京二十三区清掃協議会は、各区及び東京二十三区清掃一部事務組合との連絡調整を行う。 成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 杉並区のごみ処理量(資源物を除く) (2) 杉並区の上尿処理量									
区分		単位	16年度実績		17年度				18年度				19年度計画	目標値 22年度	目標値に対する18年度の達成率%		
			計画	実績	計画	実績	計画	実績									
指標	活動指標(1)		人	524,819	524,819	528,417	528,417	528,417	531,675	531,675	531,675						
	活動指標(2)																
	成果指標(1)		t	128,668	129,097	128,295	124,220	126,736	117,230	88,137	143.8						
	成果指標(2)		kl	158	142	161	155	138	138	135	102.2						
総事業費・コスト把握	事業費		千円	2,404,578	2,424,512	2,412,924	2,268,833	2,273,865	2,517,500	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)							
	(内) 投資的経費等		千円														
	(内) 委託費		千円														
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.21 0.00	0.21 0.00	0.21 0.00	0.21 0.00	0.26 0.00	0.26 0.00	0.26 0.00							
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	1,911	1,903	1,903	1,903	2,356	2,356							
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0	0							
	総事業費 + +		千円	2,406,489	2,426,415	2,414,827	2,270,736	2,276,221	2,519,856								
	単位あたりコスト(-)÷		円	4,585	4,623	4,570	4,297	4,281	4,739								
	財源	受益者負担分		千円													
		国・都等からの支出金		千円													
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0									
差引: 一般財源 -		千円	2,406,489	2,426,415	2,414,827	2,270,736	2,276,221	2,519,856									
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0									
18年度の主な取組み			内 容						規模	単位	事業費(千円)						
			東京二十三区清掃一部事務組合分担金								2,273,810						
			東京二十三区清掃協議会負担金								55						
			その他 ()								0						

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 694 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の 18年度達成率%	100.6	活動指標(2)の 18年度達成率%		18年度予算 執行率%	100.2
	東京二十三区一部事務組合において、新会社設立のため、分担金支出が約500万円増えた。					
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	ごみ減量は推進したが、東京二十三区一部事務組合分担金総額が増額となったため、区分分担金は減少しなかった。					

事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	平成12年度清掃事業区移管に伴う事業開始 東京二十三区清掃一部事務組合分担金 23区総額の推移 12年度:38,736,990千円 13年度:41,598,973千円 14年度:39,000,216千円 15年度:38,760,199千円 16年度:38,710,852千円 17年度:39,001,783千円 18年度:39,795,300千円
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	なし
	今後の予測	平成18年度から東京二十三区清掃一部事務組合分担金の各区分分担金額算出方法が変更になり、従来の人口割のみではなく、各区のごみ量割相当分と併せて算出することとなった。このため、各区のごみ減量の取組みの成果がコスト削減につながる。また、近々にごみ処理手数料の改定も予定されている。

事業のあり方 点検	(1) 施策への貢献度は大きい 貢献度 中(理由)	理由:東京二十三区清掃一部事務組合は、区が行う収集・運搬以外の処理・処分やし尿処理を行っている。また、東京二十三区清掃協議会は、清掃車両雇上会社への配車調整等を行い正しいごみの排出、円滑な収集・運搬事業を実現させている。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容:容器包装プラスチック、ペットボトルなどの分別収集の拡充や集団回収の推進、生ごみのリサイクルなどを行うことにより、ごみ減量の実現を図る。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:東京二十三区清掃一部事務組合及び東京二十三区清掃協議会は23区が設立した特別地方公共団体であるため。
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [その他] (具体的内容)	理由または具体的内容:23区全体のごみ量を減らすことにより東京二十三区清掃一部事務組合経費が削減できることから、当区においてもごみの削減に向けた取組を行っている。各区のごみ量に応じて分担金額が算出されることから、ごみ減量が区の負担割合の減少につながる。また、来年度予定されているごみ処理手数料の改定により経費の削減が見込まれる。

協働等 点検	(1) 協働等は実現しているか 実現していない(実現は困難)(具体的内容)	協働等の今後のあり方: <input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄
	(2) 協働等の相手	協働等による成果と課題 事業の目標であるごみの中間処理やし尿の処理は24番目の区である東京二十三区清掃一部事務組合で行うことであり、事実上、区と同様な組織であることから、行政直轄として位置づける。
	(3) 協働等の形態	

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするか) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 容器包装プラスチック、ペットボトルなどの分別収集の拡充や集団回収の推進、生ごみのリサイクルなどを行うことにより、ごみ減量の実現を図っていく。ごみ減量が東京二十三区清掃一部事務組合の経費削減につながるとともに、分担金の区負担割合も減少させることが可能となる。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	
20年度方針	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input checked="" type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	ごみ減量を推進していくことにより、東京二十三区清掃一部事務組合分担金ごみ量割相当分を減少させる。

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		浄化槽維持管理						整理番号	697		枝番号						
担当部課名		環境清掃部清掃管理課		コード	230205		連絡先 電話番号	3728		昨年度 整理番号	716		昨年度 枝番号				
係名		管理係						上位施策名		No							
予算事業名		ごみ収集管理		コード	68100		ごみ排出の適正化及び収集サービスの向上				20						
事務事業の概要	事業開始年度		○昭和 ●平成		12年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	施策番号	事業コード						
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業										
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		区内に設置された浄化槽の管理者		根拠法令等 (1) 浄化槽法 (2) 杉並区浄化槽指導要綱 (3) 杉並区浄化槽清掃経費助成特別措置に関する要綱										
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		区内の浄化槽の現況調査等による把握。苦情による浄化槽管理者に対する指導。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 浄化槽の管理者に対して適正な浄化槽の保守・管理を促し、生活環境の保全と公衆衛生の向上を図ることを目的とする。また、公共下水道告示地域の浄化槽管理者には、早期の下水道への接続を促し、浄化槽利用がなくなることを。										
	活動指標名(式)		(1) 浄化槽利用者調査の発送件数 (2) 浄化槽清掃経費助成件数				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 浄化槽設置数 (2)										
区分		単位	16年度実績		17年度		18年度		19年度計画		目標値 22年度	目標値に対する18年度の達成率%					
指標	活動指標(1)		件	92		78		88		82		88		83	60	146.7	
	活動指標(2)		件	1		1		1		1		1		1	1	100.0	
	成果指標(1)		基	78		78		82		82		83		83	60	138.3	
	成果指標(2)																
総事業費・コスト把握	事業費		千円	32		37		23		37		22		216		特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)	
	(内) 投資的経費等		千円														
	(内) 委託費		千円														
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.09	0.00	0.09	0.00	0.10	0.00	0.10	0.00	0.10	0.00	0.10	0.00		
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	819		815		906		906		906		906			
		非常勤職員分	千円	0		0		0		0		0		0			
	総事業費 + +		千円	851		852		929		943		928		1,122			
	単位あたりコスト(-)÷		円	9,250		10,923		10,557		11,500		10,545		13,518			
	財源	受益者負担分		千円													
		国・都等からの支出金		千円													
特定財源計 +		千円	0		0		0		0		0		0				
差引: 一般財源 -		千円	851		852		929		943		928		1,122				
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0				
18年度の主な取組み		内 容						規模	単位	事業費(千円)							
		浄化槽現況調査等郵送料								13							
		浄化槽清掃経費特別助成金						1	件	9							
		その他 ()								0							

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 697 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の 18年度達成率%	107.3	活動指標(2)の 18年度達成率%	100.0	18年度予算 執行率%	59.5
	浄化槽調査の回答率は昨年とほぼ同じであったが、廃止が確認されたもの、新たに浄化槽を使用中であることが確認されたもの等、浄化槽管理者台帳の整理が進んだ。					

前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	
---	--

事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	平成12年度に都から区に事業が移管された時点で、区内には下水道未普及地域がほとんどなく、現在清掃経費を助成する件数は1件となっている。浄化槽の管理者数は都からの移管時の台帳から現況調査により削除しているが、台帳にない浄化槽管理者についてもアンケートを行い、実態により台帳を管理している。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	なし
	今後の予測	浄化槽管理者に対して下水道への直結を促すように啓発を行っているが、「費用がかかる」「建替え時に廃止する」「(周囲の環境により)工事が難しい状況にある」等、早くに廃止を進めるのが困難な状況にある。

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 小(理由)	理由:浄化槽設置数が少ないため。	
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できない(理由)	理由または具体的内容:浄化槽を下水直結にするよう啓発を行っているが、個人の経費負担が大きいことから、成果の向上は期待できない。	
	成果向上のための方策	理由または具体的内容:	
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:ほとんどの浄化槽管理者に対する助成はないため。	
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [その他] (具体的内容)	理由または具体的内容:浄化槽清掃経費助成の制度について見直しを図る。	

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 実現していない(実現は困難)(具体的内容)	協働等の今後のあり方:	<input type="radio"/> 実施継続	<input type="radio"/> 推進	<input checked="" type="radio"/> 行政直轄
	(2) 協働等の相手	協働等による成果と課題 浄化槽管理者台帳の管理事務や、下水道未告示地域の浄化槽管理者への浄化槽清掃経費助成事務等、事業の性格上協働・委託を実現するのが困難な事務であるため。			
	(3) 協働等の形態				

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 浄化槽管理者台帳の整理をさらにすすめていくため、現況調査に対して未回答であった管理者の設置場所の現場調査等を行っていく。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	
20年度方針	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	19年度は、浄化槽パンフレット杉並区版を新たに作成するために予算増となったが、20年度については、例年通りの経費が見込まれる。

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		エコ商店街事業				整理番号	698		枝番号			
担当部課名		環境清掃部 清掃管理課		コード	230214	連絡先 電話番号	3733		昨年度 整理番号	717	昨年度 枝番号	
係名		リサイクル推進係				上位施策名			No			
予算事業名		ごみ収集管理		コード	68100		ごみ排出の適正化及び収集サービスの向上			20		
事務事業の概要	事業開始年度		○ 昭和 ● 平成		16 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	施策番号	事業コード	
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業					
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		資源回収に取り組もうとする商店街		根拠法令等					
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		商店街にペットボトル、空き缶の回収機または、回収ボックスを設置し近隣住民にペットボトル、空き缶を持ち寄ってもらう。回収機の当初経費、回収ボックス購入経費、回収経費は区が負担する。商店街は回収に伴う労務を提供する。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		ペットボトル、空き缶の回収を通してごみの減量に寄与するとともに、商店街の活性化につなげる。					
	活動指標名(式)		(1) ペットボトル、空き缶回収機設置台数 (2) ペットボトル、空き缶回収ボックス設置商店街数		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標		(1) 資源回収量 (2)					
区分		単位	16年度実績		17年度		18年度		19年度計画	目標値 22年度	目標値に対する18年度の達成率%	
指標	活動指標(1)		台	0	2	0	4	0	6	6	0.0	
	活動指標(2)		商店街	0	7	0	9	0	11	11	0.0	
	成果指標(1)		kg	0	36,000	0	42,000	0	48,000	48,000	0.0	
	成果指標(2)											
総事業費・コスト把握	事業費		千円	0	17,216	0	17,506	0	17,795	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等		千円	0								
	(内) 委託費		千円	0	10,891	0	14,229		11,586			
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.32	0.60	0.00	0.16	0.31	0.31			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	2,912	5,436	0	1,450	2,809	2,809		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +		千円	2,912	22,652	0	18,956	2,809	20,604			
	単位あたりコスト(-)÷		円		11,326,000		4,739,000		3,434,000			
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0				
差引: 一般財源 -		千円	2,912	22,652	0	18,956	2,809	20,604				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0		0.0	0.0	0.0				
18年度の主な取組み		内 容						規模	単位	事業費(千円)		
		エコ商店街事業への応募商店街						0	箇所	0		
		その他 ()								0		

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 698 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の 18年度達成率%	0.0	活動指標(2)の 18年度達成率%	0.0	18年度予算 執行率%	0.0
	区内全商店街にエコ商店街事業募集案内を送付したが、応募商店街がなかったため、事業未執行となった。					
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	回収ボックス設置について商店街への働きかけやまた特定商店街に対して相談等を行った。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	エコ商店街事業を進め、理解を得るための努力として一部の商店街との直接交渉や勧誘行為を行った。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	この事業による商店街活性化への期待と一方で設置場所や労務の提供等の運用面での不安があると推察される。				
	今後の予測	ごみ減量のためのリサイクルの推進として、地域の理解を得て進めることにより、環境への関心のある商店街の参加が望まれる。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由)	理由: 区民がペットボトル等を排出する際、身近な商店街に回収ボックスを設置することにより利便性が高まる。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(へ)	理由または具体的内容:				
	成果向上のための方策 その他(具体的内容)	理由または具体的内容: 商店街への粘り強い働きかけとPRを行っていく。				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容)	理由または具体的内容: 区負担分と商店街負担分の適正なあり方について十分検討のうえ事業を実施する。				
(4) コストを下げる余地はあるか ある [民営化・外部委託化] (具体的内容)	理由または具体的内容: 事業実施内容のうち収集運搬について、一般業者への委託とする。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(へ)	協働等の今後のあり方:	<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(へ)	協働等による成果と課題 回収機の当初導入経費と集まった資源の回収を区が負担する。取り組みを始めるときには、区の助成によりスタートしその後軌道に乗った段階で自主運営に切替えていく。また、商店街の取り組みを近隣住民に周知することで施策の効果を上げると同時に商店街の活性化に寄与する。				
	(3) 協働等の形態 協働[補助・助成] (具体的内容)					

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 ペットボトル、空き缶回収機、回収ボックスを商店街に設置するに当たり、商店街の自主的な運営が進むには、回収が集客につながるシステムとなる必要がある。商店街との協働により、検討と導入を進めていく、導入までに費用負担についても十分説明を行い理解を得る。	
20年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 回収機や回収ボックス設置スペース、維持管理費がネックになり、同事業に協賛する商店街を見つけることが困難となっている。商店街への働きかけや事業立ち上げ時の支援方法などを検討する必要がある。	
	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input checked="" type="radio"/> 予算なし
(2) 理由 20年度よりペットボトルの区内全域での集積所回収を予定している。また空き缶等については、既に行政回収を実施済みであるため。		

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		一般廃棄物処理業等許可・指導				整理番号	699		枝番号		
担当部課名		環境清掃部清掃管理課		コード	230205	連絡先 電話番号	3727		昨年度 整理番号	昨年度 枝番号	
係名		管理係(指導担当)				上位施策名		No			
予算事業名		ごみ収集管理		コード	68100		ごみ排出の適正化及び収集サービスの向上		20		
事務事業の概要	事業開始年度		○昭和 ●平成		18年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	施策番号	事業コード
	事業の種類		<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業				
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 一般廃棄物処理業者 区内廃棄物排出事業者				根拠法令等				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		区内において、一般廃棄物の処理業を行おうとする者に対する許可・指導業務(含立入検査)。事業系廃棄物の分別の徹底及び適正処理に関する指導				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		(1) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (2) 杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する条例 (3) 杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する規則		
	活動指標名(式)		(1) 一般廃棄物処理業の許可に関する申請等延べ件数 (2) 立入検査数				成果指標名(式) (代)=適当な指標がない場合の代替指標		(1) (代)一般廃棄物処理業者に関する苦情要望件数 (2) (代)排出指導件数		
区分		単位	16年度 実績	17年度		18年度		19年度 計画	目標値 22年度	目標値に対 する18年度 の達成率%	
指標	活動指標(1)		件				1,077	1,000	800	134.6	
	活動指標(2)		件				46	80	60	76.7	
	成果指標(1)		件				98	50	10	980.0	
	成果指標(2)						23	50	200	11.5	
総事業費・コスト把握	事業費		千円				437	1,469	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)		
	(内)投資的経費等		千円								
	(内)委託費		千円								
	職員数(常勤 非常勤)		人				2.19	1.00	2.19	1.00	
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	0	0	0	19,841	19,841		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	2,830	2,830		
	総事業費 ++		千円	0	0	0	23,108	24,140			
	単位あたりコスト(-)÷		円				21,456	24,140			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円							
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0				
差引:一般財源 -		千円	0	0	0	23,108	24,140				
受益者負担比率 ÷		%				0.0	0.0				
18年度の主な取組み		内 容					規模	単位	事業費(千円)		
		初度消耗品							238		
		共同処理事務分担金							199		
		その他 ()							0		

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 699 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%		活動指標(2)の 18年度達成率%		18年度予算 執行率%	
		処理業の手引き編集にあたり、23区担当者で共同編集し、印刷製本費を節減した。					
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		排出事業者向け適正処理啓発パンフレット作成経費を単年度で新たに計上。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	当区の許可業者が減少した。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)						
	今後の予測	現在、区が収集している事業系一般廃棄物を排出する事業者のうち、ごみ処理券の未貼付事業者等や不適正事業者が減少し、区の処理経費に係る健全な歳入の確保がされる。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 小(理由)	理由： 事業者の廃棄物管理責任を明確にできる。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる()	理由または具体的内容：					
	成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容： 事業系廃棄物の処理のあり方については、清掃事務所の排出指導とも関わるため、区の方針を取決め一元的に指導体制を整えていく。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容)	理由または具体的内容： ごみ処理券の未貼付事業者への指導及び処理業者への移行を促進することで、事業系廃棄物有料化の本則が徹底できる。					
(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容： 許認可及び行政指導行為は区の責任によるもので、外部審査機関等を活用すると経費が増大する。						
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 実現していない(実現は困難)(具体的内容)	協働等の今後のあり方：		<input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手	協働等による成果と課題 一般廃棄物処理業等に関する許認可・指導事務であるため、区が直接実施している。					
	(3) 協働等の形態						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果： <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト： <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 排出事業者に対する分別徹底及び処理手数料の適正な負担により、事業系廃棄物の処理量の減少を図る。また、処理業者の適正処理の指導により、資源循環に係る処理体系の構築を図る。	
20年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 現在、区が収集する事業系廃棄物を排出する事業者は、家庭廃棄物と事業系廃棄物を明確に区分できていないため、事業活動に伴う廃棄物の取扱いについて、排出指導を徹底し、適正な受益者負担を促す。	
	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		清掃協力会						整理番号	700	枝番号				
担当部課名		杉並清掃事務所		コード	23501	連絡先電話番号	3392-7281	昨年度整理番号	718	昨年度枝番号				
係名		管理係		上位施策名						No				
予算事業名		普及啓発		コード	67900	ごみ排出の適正化及び収集サービスの向上						20		
事務事業の概要	事業開始年度		○昭和 ●平成		12年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号		施策番号		事業コード	
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 行革計画事業		<input checked="" type="checkbox"/> 協働計画事業					
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 杉並区清掃協力会への事業委託		根拠法令等 (1) 杉並区清掃協力会会則 (2) 杉並区清掃協力会女性部運営細則 (3)									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		・清掃施設見学会及び研修会、清掃懇談会などの実施。 ・協力会員対象の環境美化、資源再利用の促進、ごみ減量化及び排出ルールの普及などの活動を行う地域団体を側面から支援する。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) すべての区民、事業者が清掃事業に関する理解を深め、自主的に資源の再利用の促進やごみの適正排出、減量化に積極的に取り組む。									
	活動指標名(式)		(1) 清掃懇談会及び女性部会等の参加者数 (2)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 資源化率(ごみ量中の資源の率) % (2)									
指標	活動指標(1)		人	820	1,000	581	700	888	1,000					
	活動指標(2)													
	成果指標(1)		%	18	19	20.5	21	20.7	24	32.2	64.3			
	成果指標(2)													
総事業費・コスト把握	事業費		千円	708	708	708	708	708	708	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など) 平成18年度の活動指標については、施設見学会や地区懇談会の実施回数増に伴い、参加者数が大幅に増加した。また、平成22年度の目標値は、平成20年度に杉町連への統合を目指しているため、数値目標は設定できない。				
	(内) 投資的経費等		千円	0	0	0	0	0	0					
	(内) 委託費		千円	708	708	708	708	708	708					
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.92	0.00	0.92	0.00	0.92	0.00	0.92	0.00			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	8,372	8,335	8,335	8,335	8,335	8,335				
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0	0				
	総事業費 + +		千円	9,080	9,043	9,043	9,043	9,043	9,043					
	単位あたりコスト(-) ÷		円	11,073	9,043	15,565	12,919	10,184	9,043					
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0	0	0				
		国・都等からの支出金		千円	0	0	0	0	0	0				
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0						
差引: 一般財源 -		千円	9,080	9,043	9,043	9,043	9,043	9,043						
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0						
18年度の主な取組み		内 容						規模	単位	事業費(千円)				
		事業委託料								708				
		その他 ()								0				

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 700 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	126.9	活動指標(2)の 18年度達成率%		18年度予算 執行率%	100.0
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		事業内容・実施方法の見直し等に伴い、参加者数が大幅に増加し、清掃施設見学会、研修会、地区懇談会の実施を通じて、より多くの区民に清掃事業関連の情報提供を行うことができた。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	区のごみ量(単位:トン) 平成16年度 128,668 平成17年度 128,295 平成18年度 125,454 排出者である区民のごみ減量、資源化への理解・協力が高まり、分別排出が促進され、ごみの減量が進み、資源化率が向上してきている。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	協力会の役員は、町会組織の清掃事業担当として地域で活動していることから、地域住民からの信頼が高く、チラシ配布・ごみの排出指導など区への協力度も高い。また、研修会や清掃施設見学会を通して、区の清掃事業などを知るよいきっかけになっていると好評である。					
	今後の予測	ごみゼロ社会づくりを目指した、更なるごみの減量化、再資源化、再利用の促進のためには、これまで以上に区民・事業者の理解および参加が必要不可欠である。行政と住民のパイプ役を担っている協力会の役割は重要であり、現在、平成20年の杉町連との統合後の活動について検討を行っている。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きい 貢献度 中(理由)	理由:環境衛生の向上のため、行政と区民とが一緒になって取り組むことが必要である。協力会は、行政と地域住民をつなぐパイプ役として環境清掃行政を支えている。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる()	理由または具体的内容: 事業内容の更なる見直しなどにより可能。					
	成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 研修会や施設見学会を通じて区の清掃事業への協力と理解を深めてもらい、より一層のごみの減量化、リサイクルの推進をすすめる。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 清掃協力は、住民の任意団体のため、区が判断すべきではないと考える。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある[事業の統廃合](具体的内容)	理由または具体的内容: 委託内容を変更するなどにより可能。また、杉町連との統合で事業の効率化も考えられる。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:	<input type="radio"/> 実施継続	<input checked="" type="radio"/> 推進	<input type="radio"/> 行政直轄		
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	協働等による成果と課題 自主的活動支援のための事業であり、清自主事業である研修会・施設見学会・地域懇談会を開催し、清掃事業への理解と協力を促進していく。また、杉町連との統合を契機として、事業の効率化や充実を支援し協働をさらに推進していく。					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当](具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 平成20年、清掃協力は杉並区町会連合会(杉町連)との統合を予定している。これを機に、資源・ごみに関する意識啓発を更に推進するため、いわゆる無関心層に対してもごみ出しルール等の周知徹底を図っていく。また、平成20年の杉町連との統合後も現在の事業を継続していく。この際、統合による事業の効率化や充実を図り、より発展した事業展開ができるよう側面から支援していく。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 平成20年度の杉町連への統合が、円滑に進むよう事務局として側面から支援していく。	
20年度方針	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	平成20年度に杉町連と統合することで、実施事業による区民の清掃事業への理解・協力の意識はさらに高まり、ごみ減量化やリサイクルは一層促進される。引き続き事業委託を行っていくため、来年度予算については現状維持の予算見積もりとする。

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		ふれあい指導						整理番号	702	枝番号	
担当部課名		環境清掃部 杉並清掃事務所		コード	230504	連絡先 電話番号	3392-7281	昨年度 整理番号	720	昨年度 枝番号	
係名 作業係		上位施策名						No			
予算事業名		ごみ収集作業等		コード	68300	ごみ排出の適正化及び収集サービスの向上				20	
事務事業の概要	事業開始年度		○昭和 ●平成		12年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	施策番号	事業コード
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業				
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				根拠法令等				
	区民及び区内事業者						(1) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律第4条 (2) 杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する条例第5条 (3)				
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		集積所単位で、ごみの排出や事業系有料ごみ処理券貼付(受益者負担)の指導を計画的に実施する。				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		・可燃・不燃ごみや資源の分別排出の徹底、並びに、ごみ減量やリサイクルの推進。 ・有料ごみ処理券貼付の徹底。		
活動指標名(式)		(1) ふれあい指導件数		(2)		成果指標名(式) (代)=適当な指標がない場合の代替指標		(1) 不燃ごみの資源混入率			(2) 資源化率

区分	単位	16年度 実績	17年度		18年度		19年度 計画	目標値 22年度	目標値対 する18年度 の達成率%		
			計画	実績	計画	実績					
指標	活動指標(1)	件	3,032	3,109	2,792	3,187	2,792	3,270	3,517	79.4	
	活動指標(2)										
	成果指標(1)	%	13	11	18	11	18	10	7	257.1	
	成果指標(2)	%	18	19	21	23	17	24	27	63.0	
総事業費・コスト把握	事業費	千円	1,998	10,298	1,274	13,243	1,513	14,652	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)		
	(内)投資的経費等	千円	0	0	0	0	0	0			
	(内)委託費	千円	0	0	0	0	0	0			
	職員数(常勤 非常勤)	人	10.00	10.00	10.00	10.00	8.00	8.00	平成17年より一部地域で廃プラスチックを資源として回収し、平成18年に地域拡大をした。平成20年度からの廃プラスチックサーマルリサイクルの区内全域実施を見据え、平成18年度からプラスチック系ごみの混入について、指導の緩和をしている。17年度以降の廃プラスチック回収開始、18年度以降のその拡大とサーマルリサイクルのモデル実施による収集日変更の可能性があった。そのため表示板等を新たに作成する事業費を計上した。		
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	91,000	90,600	90,600	90,600	72,480			72,480
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			0
	総事業費 ++	千円	92,998	100,898	91,874	103,843	73,993	87,132			
	単位あたりコスト(-)÷	円	30,672	32,454	32,906	32,583	26,502	26,646			
	財源	受益者負担分	千円	0	0	0	0	0			0
		国・都等からの支出金	千円	0	0	0	0	0			0
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0			
差引:一般財源 -		千円	92,998	100,898	91,874	103,843	73,993	87,132			
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				

18年度の主な取組み	内 容		規模	単位	事業費(千円)
		排出指導ステッカー、集積所看板シール等		126,500	枚
	その他 ()				316

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 702 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	87.6	活動指標(2)の 18年度達成率%	18年度予算 執行率%	11.4
		平成17年度以降の廃プラスチック回収開始、18年度以降のその拡大とサーマルリサイクルのモデル実施による収集日変更の可能性があった。そのため表示板等を新たに作成する事業費を計上したが、不要となった。				
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)						
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	ふれあい指導は担当者に限定して行っていたが、収集職員が行えるように改善した。平成20年度からの廃プラスチックの区内全域実施を見据え、平成18年度からプラスチック系ごみの混入について指導の緩和をしている。				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	曜日違い等のルール違反ごみの調査・指導や集積所の改善、戸別収集化に関する要請がある一方、ルール違反への指導が厳しいと不満の声も上がっている。				
	今後の予測	区民、事業者にごみ分別や貼付がより一層浸透する。プラスチック製容器包装集積所回収、ペットボトル集積所回収、廃プラスチックサーマルリサイクルの区内全域実施により不燃ごみの減量と資源化率がさらに進む。				
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由:不適正排出者に対する指導の徹底により、ごみの減量、リサイクルの推進、定期的な環境学習の開催など、効果は大きい。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容:不適正排出の現状をデータ化し継続的に指導する。				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:事業の性格から受益者負担の余地はない。				
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [その他] (具体的内容)	理由または具体的内容:各収集作業員への一部業務移行。				
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 実現していない(実現は困難)(具体的内容)	協働等の今後のあり方:	<input type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input checked="" type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手	協働等による成果と課題:行政指導や勧告を伴うことがあるため、区が行う必要がある。また、収集作業は区の直営事業のため、集積所看板等の収集に必要な物品は区が調達し配布している。				
	(3) 協働等の形態					

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入	
20年度方針	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	掲示板等の経費は今後の施策により流動的なので、予算計上を予定している。

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		清掃事務所維持管理						整理番号	703	枝番号					
担当部課名		杉並清掃事務所・方南支所		コード	230501	連絡先 電話番号	3392-7281	昨年度 整理番号	721	昨年度 枝番号					
係名				管理係				上位施策名		No					
予算事業名				杉並清掃事務所維持管理				コード		ごみ排出の適正化及び収集サービスの向上		20			
事務事業の概要	事業開始年度			○昭和 ●平成		12年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input type="checkbox"/> 協働計画事業	施策番号	事業コード	
	事業の種類			<input type="checkbox"/> 新規		<input type="checkbox"/> 一部新規		<input type="checkbox"/> 臨時・単年度		<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等			
	対象			<input type="checkbox"/> 個人		<input type="checkbox"/> 世帯		<input type="checkbox"/> 団体		<input type="checkbox"/> その他		(1) 消防法 (2) 建築基準法 (3) 廃棄物の処理及び再利用に関する条例			
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)			各清掃事務所及び分室並びに杉並中継所の庁舎等の維持管理と運営を行う。職員と業者委託による遂行。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		建物や設備等を適正に管理し、安全で機能的な執務環境を確保する。							
活動指標名(式)			(1) 建物の延床面積(m ²)		(2)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標		(1) (代)不具合件数			(2)			

区分	単位	16年度 実績	17年度		18年度		19年度 計画	目標値 22年度	目標値に 対する18年度 の達成率%	
			計画	実績	計画	実績				
指標	活動指標(1)	m ²	8,278	10,154	10,154	10,154	10,154	10,154	100.0	
	活動指標(2)									
	成果指標(1)	件	44	0	50	0	72	0	0	
	成果指標(2)									
総事業費・ コスト把握	事業費	千円	108,408	170,407	144,455	152,089	131,670	155,037	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)	
	(内) 投資的経費等	千円	0	0	0	0	0	0		
	(内) 委託費	千円	23,155	56,554	57,124	51,183	47,520	54,859		
	職員数(常勤 非常勤)	人	4.68 2.00	4.50 2.00	4.50 2.00	4.50 2.00	4.50 2.00	4.50 2.00		
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	42,588	40,770	40,770	40,770	40,770	40,770	
		非常勤職員分	千円	5,760	5,780	5,780	5,660	5,660	5,660	
	総事業費 + +	千円	156,756	216,957	191,005	198,519	178,100	201,467		
	単位あたりコスト(-)÷	円	18,936	21,367	18,811	19,551	17,540	19,841		
	財源	受益者負担分	千円	0	0	0	0	0	0	
		国・都等からの支出金	千円	0	0	0	0	0	0	
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0		
差引: 一般財源 -		千円	156,756	216,957	191,005	198,519	178,100	201,467		
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

18年度の主な取組み	内 容		規模	単位	事業費(千円)
	光熱水費				62,807
	保守管理委託費				47,520
	維持管理費				5,761
	施設等整備費				15,582
	その他 ()				0

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 703 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	100.0	活動指標(2)の 18年度達成率%		18年度予算 執行率%	86.6
		施設の老朽化に伴い、配水管・建具などの修理が増加している。					
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		19年度は杉並清掃事務所2階西側職員控室のエアコンの取替え修理を行う。なお、設備に不具合が生じた場合は作業に支障をきたさないように速やかに処理を行う。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	平成14年6月に夜間・早朝収集作業が開始されたことに伴い、従来職員の控室であった一部の部屋を和室に改装し従事職員の対応にあてている。また、16年度に組織統合を図り、効率的な組織運営を行っている。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	杉並中継所の役割が正当に評価されている一方で、井草森公園周辺の環境問題に関連して、中継所の操業停止を求める意見も一部にある。					
	今後の予測	組織統合を行ったことにより、組織運営のより一層の効率化が求められる。また、清掃事務所本所及び方南支所の築年数が、それぞれ41年、28年となり、今後、修繕箇所が増加する事が予測される。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由)	理由: 清掃事業は生活環境の向上には欠かせないものである。また、中継所も計画どおり稼働しており、役割を十分に果たしている。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 その他(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 老朽化した施設については、大規模な修繕(建替え等も含む)等を行い、作業環境の改善を図って行く。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 受益者負担になじまない。					
	(4) コストを下げる余地はあるか	理由または具体的内容:					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題: 光熱水費の負担を除き、清掃・警備・ボイラ一点検等の施設の維持管理に必要な業務を委託している。					
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)						

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 (1) 全職員が杉並区環境方針を理解し、電気・水道・ガスなどの節約に取組み経費を可能な限り削減する。(2) 現在、各所単位で契約している委託契約を、集合契約とすることにより、より安価な契約が可能となる。	
20年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 建替えにより、故障発生を抑制し、作業効率等を高める。	
	(1) 20年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	(2) 理由 限られた財源の中で、執務環境の改善を図って行く。

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		清掃車両(ゴミ収集車)の運行及び維持管理						整理番号	704	枝番号		
担当部課名		杉並清掃事務所		コード	230510	連絡先 電話番号	3317-6771	昨年度 整理番号	722	昨年度 枝番号		
係名		杉並清掃事業所						上位施策名		ごみ排出の適正化及び収集サービスの向上		
予算事業名		清掃事業所維持管理		コード	69500					No		
事務事業の概要	事業開始年度		○昭和 ●平成		12年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 政策番号 <input type="checkbox"/> 施策番号 <input type="checkbox"/> 事業コード					
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業					
	対象		<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		区所有清掃車両(ゴミ収集車)24台(3月末)		根拠法令等		(1) 杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する条例 (2) 道路運送車両法 (3) 自動車損害賠償法、自動車重量税法			
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		区所有清掃車両の運行 区所有清掃車両の車検、点検 自動車損害賠償責任保険への加入 自動車重量税の支払い 清掃車両の仕様の決定				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		作業計画どおりの配車を行う 清掃車両の買い替えは災害対策を配慮した低公害車への更新に努める			
	活動指標名(式)		(1) 年間延べ配車台数 (2) 低公害車の導入台数				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標		(1) 配車率 配車台数 ÷ 計画台数 (2) 低公害車率 低公害車台数 ÷ 清掃車保有台数			
区分		単位	16年度実績		17年度		18年度		19年度計画	目標値 22年度	目標値に対する18年度の達成率%	
指標	活動指標(1)		台	6,523	6,200	6,244	6,200	6,342	6,200	6,200	102.3	
	活動指標(2)		台	4	26	26	25	25	24	24	104.2	
	成果指標(1)		%	100	100	100	100	100				
	成果指標(2)		%	100	100	100	100	100				
総事業費・コスト把握	事業費		千円	28,223	37,764	27,636	37,837	31,441	43,965	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)		
	(内)投資的経費等		千円									
	(内)委託費		千円	0	65	11	65	28				
	職員数(常勤 非常勤)		人	46.50 3.00	39.00 2.00	42.08 2.00	37.00 2.00	37.00 2.00	37.00 1.00	16年度までの指標(2)は、低公害車(LPG・天然ガス)購入台数。17年度からの指標(2)は、低公害車保有台数(八都府市指定低公害車)。		
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	423,150	353,340	381,245	335,220	335,220	335,220			
		非常勤職員分	千円	8,640	5,780	5,780	5,660	5,660	2,830			
	総事業費 + +		千円	460,013	396,884	414,661	378,717	372,321	382,015			
	単位あたりコスト(-)÷		円	70,522	64,014	66,410	61,083	58,707	61,615			
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円	0	0	0	0	0			0
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0				
差引:一般財源 -		千円	460,013	396,884	414,661	378,717	372,321	382,015				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
18年度の主な取組み		内 容						規模				
		清掃車維持管理 自動車用燃料 光熱水費								18,841		
		車両点検整備 一般需用費(材料品等)								10,402		
		維持管理経費 一般需用費・役務・委託・公課等								2,198		
		その他		()								0

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 704 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 18年度達成率%	102.3	活動指標(2)の 18年度達成率%	100.0	18年度予算 執行率%	83.1
		清掃車両直営による運行及び維持管理による経費削減に努めた。 安全な車両運行のため、事故防止の徹底、計画的な車両整備を行った。					
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している 場合、関連する新規事業がある場 合にはその概要も明記)		計画的かつ効率的な車両の車検・点検整備により安全運転を確保している。 清掃作業車を事業所で集中的に車検点検整備、修理を行うことで効率的な運営を図っている。 環境負荷や災害時の対応を考慮し、低公害車ディーゼル車等を導入予定である。修理部 品やタイヤの購入についても経費削減と環境面とを考慮して対応している。					
事業環境 の変化	事業開始当初から 現在までの変化	平成12年度、都から移管された事業である。16年度車両管理の集中化を図るため、購入は、 経理課に事務を移管した。17年3月には、高円寺、高井戸両車庫を統合し、配車を一元化し た。車両保有台数は、移管時の33台が、17年度26台、18年度25台、19年度末24台となる。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	ごみの収集時刻 車の配車時刻 について一部要望がある。					
	今後の予測	ごみ量の逡減により、計画台数の減少も考えられるが、ライフラインを担う機関として災害時の 対応も考慮した適切な車両の確保を図っていく必要がある。					
事業の あり方 点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由:ごみ収集を円滑に行うことにより、安定的な区民生活を確保できる。その ため作業計画どおりの配車を行い収集作業を円滑に完了させている。年未年 始対策車や臨時車の配車によりごみ量の変化に柔軟に対応している。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(^) 成果向上のための方策 その他(具体的内容)	理由または具体的内容:事業所には、車両整備担当職員が配置され 実車、予備車を順次点検している。これにより車両の調子を良好に保 ち、安定的な配車と円滑な収集作業を実現している。 理由または具体的内容:今後、車両の点検修理や安全運転を徹底し、 事故の諸費用を減らし、他の費用についても見直しを進める。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:清掃車両の運行、点検修理については、受 益者負担はない。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [手段・方法の変更] (具体的内容)	理由または具体的内容:車両の点検修理を徹底し事故等減少を図り、 費用を間接的に減らす。保有車両の適正化を図る。また、部品の購入 法の再検討を進める。					
	(5) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
(6) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題:清掃車両の委託割合は、事業移管時、一定 の割合が定められている。直営比率に満たない部分について業者委 託(雇上)で対応している。						
(7) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容)							

今後の 事業の あり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするかたち) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 保有車両は、職員数に見合った直営車の運行を行っている。、保有車両の見直しは、平成16年度末30台、17年度末26 台、19年度までに24台と予備車の減車を進めている。車両は全て環境負荷の少ない天然ガス、低公害ディーゼル等であ る。また、再生タイヤの利用等、部品の購入についてもコスト意識をもち運営している。事故を防止するため車両の点検整 備の励行と安全運転による補修費等事故関係費の節減を図りたい。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 事故については、予測不能である。車両については、点検整備の充実を図る。運転担当については、事故を起こした職員 に対する所内研修、外部の安全運転研修への参加の推進等、安全運転意識の向上を図る。	
20 年度 方針	(1) 20年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減な <input checked="" type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	
	(2) 理由 清掃車両保有台数の減ほか、事故減による事故関係費の削減や部品購入等の支出執行時、費用節減努力による。	

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		不燃ごみ中継所作業						整理番号	705	枝番号			
担当部課名		杉並清掃事務所		コード	230501	連絡先 電話番号	3392-7281	昨年度 整理番号	723	昨年度 枝番号			
係名		杉並中継所		上位施策名					No				
予算事業名		ごみ収集作業等		コード	68300	ごみ排出の適正化及び収集サービスの向上					20		
事務事業の概要	事業開始年度		○昭和 ●平成		12年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	施策番号	事業コード		
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業						
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 杉並区及び中野区、練馬区において収集した不燃ごみ				根拠法令等						
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）		23区全体の広域的な施設である中継所の一つとして、杉並区及び中野区、練馬区において収集した不燃ごみの積み替え作業を行っている。この積み替えによって最終処分場まで行く清掃車の台数を7分の1に減らしている。				事業の目標（対象をどのような状態にしたいのか）		中野区、練馬区と連携してごみの減量や、不燃ごみの約5割を占めるプラスチックの分別を徹底し、不燃ごみを最大80%減量することで中継所を不要なものとして行く。				
	活動指標名(式)		(1) 杉並区・中野区・練馬区の不燃ごみ中継量 (2)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標		(1) 積み替え後、コンテナ車出庫総延台数 ÷ 中継所搬入総延台数 (2)				
指標	区分		単位	16年度実績	17年度		18年度		19年度計画	目標値 22年度	目標値に対する18年度の達成率%		
	活動指標(1)		t	53,748	55,360	54,067	54,000	53,277	51,300	27,000	197.3		
	活動指標(2)												
	成果指標(1)		%	15	15	14	15	14	15	15	93.3		
総事業費・コスト把握	事業費		千円	655,887	690,811	673,299	689,968	671,800	628,645	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)			
	(内) 投資的経費等		千円	36,750	36,750	36,750	36,750	36,750	0				
	(内) 委託費		千円	42,028	43,299	42,823	42,150	39,947	41,344				
	職員数(常勤 非常勤)		人	12.00 2.00	12.00 2.00	12.00 2.00	12.00 2.00	12.00 2.00	12.00 2.00	12.00 2.00	・成果指標を、最終処分場へ行く車両台数の減少効果に変更した。 ・平成20年度で廃止の計画がある。		
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	109,200	108,720	108,720	108,720	108,720	108,720	108,720			
		非常勤職員分	千円	5,760	5,780	5,780	5,660	5,660	5,660	5,660			
	総事業費 + +		千円	770,847	805,311	787,799	804,348	786,180	743,025				
	単位あたりコスト(-) ÷		円	13,658	13,883	13,891	14,215	14,067	14,484				
	財源	受益者負担分		千円									
		国・都等からの支出金		千円									
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0	0					
差引: 一般財源 -		千円	770,847	805,311	787,799	804,348	786,180	743,025					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
18年度の主な取組み			内 容					規模	単位	事業費(千円)			
			搬出車両雇上費(大型特殊車両)					5,242	台	452,428			
			積替用コンテナ購入					5	台	36,750			
			その他 ()							182,622			

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 705 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の 18年度達成率%	98.7	活動指標(2)の 18年度達成率%		18年度予算 執行率%	97.4
	区内6分の1の地区で廃プラスチックを資源ごみとして収集し、不燃ごみの減量に努めあわせて経費節減を図った。					

前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	
---	--

事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	収集車の積載量の見直し、廃プラスチック、びん・缶の資源ごみ収集開始により増減はあるものの、成果指標は向上傾向にある。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	中継所の役割、事業性が正当に評価される一方で、収束した井草森公園周辺環の健康被害に関連して、中継所の即時操業停止を求める意見が一部ある。
	今後の予測	杉並中継所の安全で円滑な運営を行うとともに、引き続き周辺環境への影響を少なくするための努力を行っていく。また、ごみの減量対策を積極的に進め、24年度を目標に杉並中継所を不要なものとしていく。平成19年4月よりサーマルリサイクルのモデル実施を開始し、10月からエリアを拡大し、20年度から本格実施することとなった。

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由:不燃ごみを圧縮し、中防不燃ごみ処理センターまで行く車の量を減らすことで、交通量と自動車公害を緩和し、環境改善に役立っている。	
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる(^)	理由または具体的内容:	
	成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容:効率的な収集・中継作業体制を確立していく。	
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容)	理由または具体的内容:財調基礎数値に従量費用負担制度を確立するように求めるなど、配分適正化の余地がある。	
(4) コストを下げる余地はあるか ある[その他](具体的内容)	理由または具体的内容:効率的な収集運搬体制を確立することでコストダウンの余地がある。		

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:	<input type="radio"/> 実施継続	<input type="radio"/> 推進	<input checked="" type="radio"/> 行政直轄
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題 中継プラントの点検や最終処分場までの運搬など、中継業務の中核となる部分の大半が委託されている。			
	(3) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当](具体的内容)				

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 廃プラスチックの資源回収やサーマルリサイクルをすすめ、ごみ半減プランを着実に推進し、中継所を不要なものとしていく。	
(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 他区の不燃ごみの取扱について、23区全体で中継所の再編や廃止について、調整及検討が必要である。		
20年度方針	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input checked="" type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 廃プラスチックの資源回収やサーマルリサイクルの実施により、不燃ごみが減少する見込みである。	

平成19年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		し尿・粗大ごみ中継作業					整理番号	708	枝番号				
担当部課名		環境清掃部杉並清掃事務所		コード	230501	連絡先 電話番号	3323-4571	昨年度 整理番号	726	昨年度 枝番号			
係名		方南担当作業係			上位施策名			No					
予算事業名		ごみ収集作業等		コード	68300	ごみ排出の適正化及び収集サービスの向上			20				
事務事業の概要	事業開始年度		○ 昭和 ● 平成		年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野		政策番号	施策番号	事業コード		
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業						
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		し尿及び粗大ごみの収集		根拠法令等 (1) 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (2) 杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する条例 (3)						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		し尿:小型車で収集したし尿を一時貯留槽に受け入れ、大型車で大井作業所へ搬出する中継所の管理運営を行う。粗大:小型ダンプ車で収集または区民持込をした粗大ごみを圧縮機を備えた中型プレス車に積替え、粗大ごみ破砕処理施設へ搬出する中継所の管理運営を行う。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		中継所を適切に管理運営することにより、効率的な収集・搬出を行う。中・大型車に積替えることで運搬車両台数を減らし、環境への負荷を最小限にする。						
	活動指標名(式)		(1) 搬出したし尿量 (2) 搬出した粗大ごみ量		成果指標名(式) (代)= 適当な指標がない場合の代替指標		(1) し尿搬出車両台数 (2) 粗大ごみ搬出車両台数						
指標		区分	単位	16年度実績	17年度		18年度		19年度計画	目標値 22年度	目標値に対する18年度の達成率%		
					計画	実績	計画	実績					
		活動指標(1)	kl	2,045	2,000	1,997	2,000	1,942	2,000	1,800	107.9		
		活動指標(2)	t	3,799	3,900	4,105	3,900	4,165	3,900	3,350	124.3		
		成果指標(1)	台	468	460	465	465	466	465	420	111.0		
		成果指標(2)	台	2,588	2,600	2,680	2,600	2,748	2,600	2,200	124.9		
総事業費・コスト把握		事業費		千円	156,102	180,104	160,988	165,612	153,995	155,896	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)		
		(内) 投資的経費等		千円									
		(内) 委託費		千円	24,940	27,299	28,909	27,299	24,289	25,959			
		職員数(常勤 非常勤)		人	2.13	1.06	1.07	1.07	1.07	1.07			
		人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	19,383	9,604	9,694	9,694	9,694	9,694			
			非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0	0			
		総事業費 + +		千円	175,485	189,708	170,682	175,306	163,689	165,590			
		単位あたりコスト(-)÷		円	85,812	94,854	85,469	87,653	84,289	82,795			
		財源	受益者負担分		千円								
			国・都等からの支出金		千円								
特定財源計 +			千円	0	0	0	0	0	0				
差引:一般財源 -			千円	175,485	189,708	170,682	175,306	163,689	165,590				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
18年度の主な取組み		内 容						規模	単位	事業費(千円)			
		粗大ごみ日曜収集						1,623	件				
		粗大ごみ区民持込制度						1,393	件				
		その他 ()								153,995			

平成19年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 708 枝番号

18年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の 18年度達成率%	97.1	活動指標(2)の 18年度達成率%	106.8	18年度予算 執行率%	93.0
前年度の改革案の取り組み状況 (19年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	・世田谷区が行っていたし尿収集は、各区(杉並・中野・新宿・渋谷区)が収集を行うことになった。それに伴い、世田谷区が管理していた収集先の現地確認を行い、整合性を図った。 ・10月1日から粗大ごみの申し込み先が「いつでも電話サービス(杉並区コールセンター)」に変更になった。ファクスやインターネットによる申し込みも引き続き行っている。 ・中継所の利用実態と土地等賃貸借契約内容を精査し、契約金額の減額を行った。					

事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	区内し尿収集戸数 平成11年度118戸 平成18年度65戸 平成13年4月から家電リサイクル法が施行された。 平成16年4月から家電リサイクル法に家庭用電気冷凍庫が追加された。
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	平成18年2月から実施している日曜収集と区民持込の制度は好評を得ているが、通常(コールセンター)受付の場合、収集までの期間が地域によっては2週間程度かかる場合がある。また、高齢者及び障害者のみの世帯で運び出しが困難な場合には、事前訪問したうえで運び出しを実施している。申し込みから収集までの期間短縮や運び出し等の要望が寄せられている。
	今後の予測	景気の回復に伴って、粗大ごみの申し込み件数は微増が見込まれる。また、現在実施している高齢者及び障害者世帯で実施している粗大ごみの運び出しは、件数の増加が見込まれる。

事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	理由: し尿・粗大とも小型車で収集し、より大型の車で処理・処分場へ輸送することにより、迅速かつ効率的な収集と輸送を実現し、収集サービスの向上に貢献している。	
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 その他(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: し尿: 貯留槽や搬出車両台数の一層の適正管理に努める。 粗大: 家電製品リサイクル化を進めることにより、粗大ごみの量を減らす。	
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容)	理由または具体的内容: し尿収集については23区で統一して無料収集と決められている。粗大ごみは、収集が区民持込かで収集コストに対応した負担を求めている。	
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 区内に中継施設が1箇所しかないため、競争原理が働きにくく、設備の更新や委託業務経費の削減につながりにくい。	

協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:	<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄
	(2) 協働等の相手 企業・個人事業者(^)	協働等による成果と課題: 現在、し尿・粗大ごみ中継所は民間業者の敷地・設備を賃貸借契約で借り受けている。積み替え作業についても委託業務契約を締結している。	
	(3) 協働等の形態 協働[補助・助成](具体的内容)		

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input checked="" type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするか) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 ・区民から申し込みのあった粗大ごみの収集を迅速に行うためには、収集と中継作業の連携が必要であり、中継所のより効率的な運営を目指して委託内容を見直していく。・区は粗大ごみ排出を抑制するため、資源や家具、家電製品のリサイクル、リユースを進めることで、循環型社会を実現する。・粗大ごみの運び出しは、対象者の拡大等、排出者の要望に応じたきめ細やかなサービスの実現を図っていく。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 中継所には渋谷区と中野区の粗大ごみが搬入されているため、杉並区が単独で委託内容を変更するのは困難な場合がある。	
20年度方針	(1) 20年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減な <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	・中継所を適切に管理運営することにより、効率的な収集・運搬を行う。 ・大型車への積み替えにより処理・処分場へ輸送することで、輸送コストの節減と環境への負担を軽減する。